

# みんなで参加」 良くするしくみ。一



赤い羽根共同募金

10月1日(金)～12月31日(金)

www.akaihane.or.jp 赤い羽根 後援

**共同募金は地域福祉を  
応援する民間財源**

赤い羽根共同募金運動が、今年も10月1日から12月31日まで全国一斉に行われます。

共同募金は、戦後まもない昭和22年にスタートして以来、社会福祉施設や社会福祉協議会、NPOなどの民間福祉活動を支援しています。

そして、地域福祉を応援する民間財源として、住民参加のもと、「ふだんのくらしのしあわせ」を実現できるまちづくりのために大きな役割を果たしています。

**いざという時私たちを  
助けてくれる活動**

全国各地の都道府県共同募金会では、国内の大規模災害の発生に備えて、赤い羽根共同募金の一部を「災害準備金」として積み立てています。

昨年の豪雨災害では、災害ボランティアセンターの立上げ経費として、この準備金より80万円の助成金が宍粟市社協に届きました。

また、本会が3月に設置した防災倉庫についても、昨年の共同募金の配分金を活用しました。このように、いざという時私たちが助けてくれる活動にも募金が活かされています。



防災倉庫にはスコップや投光機など必要な機材や備品を保管しています～山崎町鹿沢～

**一人ひとりが福祉を  
高めるチャンスです**

家庭で戸別募金という形で募金しているのに、学校や職場、またお店や企業などでも募金するのはなぜですか？というご意見

をよく聞きます。

これは、市民一人ひとりがいろんな場所で、それぞれの立場で募金活動に参加いただき、「いっしょに福祉を高めていこう」という考えにもとづくものです。

「助け合い」「思いやり」「しあわせ」のシンボル、赤い羽根。ほんのわずかな募金でも、それが「じぶんの町を良くする」力になります。

## 小学生から心温まる手紙が ～昨年の赤い羽根共同募金より～

すくないお金ですが使ってください。わたしのお金だけでは、ぜんぜんなにもできません。でもたくさんの人たちが「1円」でもぼきんすれば、たくさんのお金になるとおもいます。わたしのすくないお金をたくさんの人役に立てたいとおもいます。

